

操作はゆっくりと、確実に、安全に運転してください。

## オペレーティング プロセスガイド 安全運転のために

- 移動式クレーンの運転には資格が必要です。

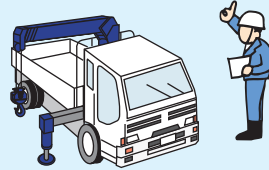
つり上げ荷重	運転	玉掛け
0.5トン以上 1トン未満	特別教育	特別教育
1トン以上 5トン未満	技能講習	技能講習
5トン以上	運転免許	

- 取扱説明書を読んで操作方法を理解してください。
- 取扱説明書はいつでも読めるよう、運転室内に保管してください。



- 誤った機械の操作や点検・整備は、機械の損傷や人身事故の原因になります。

- 点検・整備を十分にこなってください。



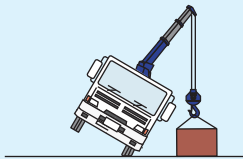
- 日常の点検・整備をおろそかにすると、機械の寿命を縮めたり、思わぬ事故を起こしたりします。

- 作業中、通行人や車両に危険が生じないように対処してください。

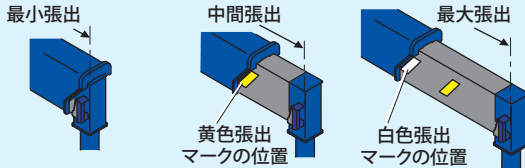


- 作業現場内に関係者以外の人や車両などが入ると、人身事故や接触事故の原因になります。

- アウトリガを設置しないでクレーン操作することを**禁止**します。

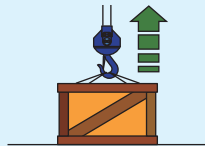


- アウトリガの張出幅によって、定格総荷重が変わります。

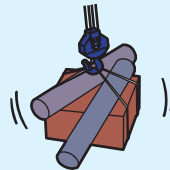


- 荷の重さを測り、オーバーロードになっていないことを確認してからつり上げてください。

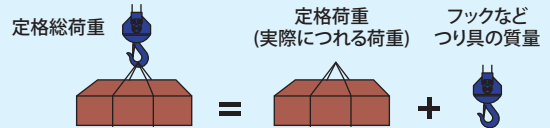
- ウインチ操作以外での荷の地切りは**禁止**します。



- 誤った玉掛け作業はしないでください。



- 定格総荷重の範囲内で作業してください。

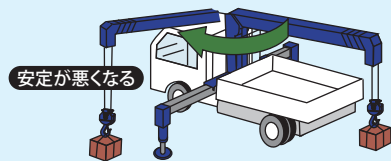
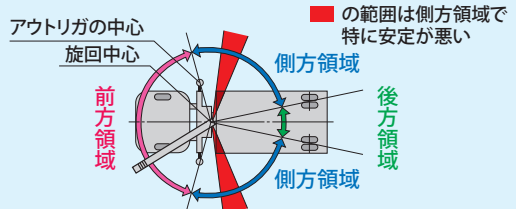


- 旋回方向により、車両の安定が変わります。転倒に注意し、ゆっくりと操作してください。

- アウトリガより前方では、定格総荷重の1/4(25%)を超える作業を**禁止**します。



- 安定は、後方から前方になるほど悪くなります。



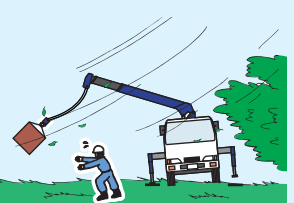
- 荷の横引き、斜めづり、引き込み、無理なつり上げは**禁止**します。



- 乱暴な運転はしないでください。



- 強い風が吹くときは、作業をやめて、ブームを格納してください。



- 詳細は取扱説明書を参照してください。

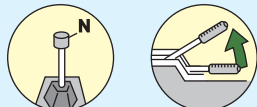
操作はゆっくりと、確実に、安全に運転してください。

オペレーティング プロセスガイド

# クレーン操作準備

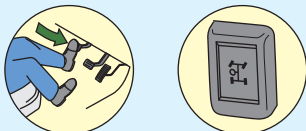
**1** 地盤が堅くて平坦な場所を選んで停車してください。

**2** トランスミッションを「N」または「P」にし、パーキングブレーキをかけてください。



● 守らないと、思いがけず車両が動くことがあります。

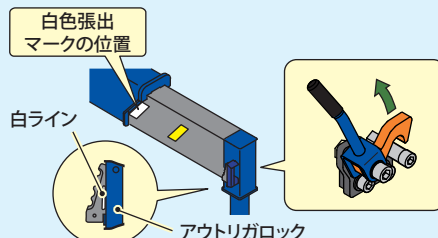
**3** クラッチペダルを踏み込み、PTOを「ON」にしてください。



(PTOをON)

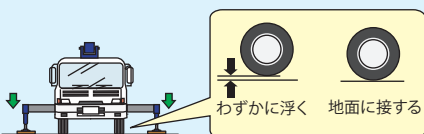
● 車両メーカー発行の取扱説明書に従ってください。

**4** 走行用ロックを解除してアウトリガを最大に張り出してください。



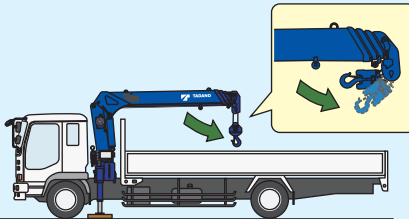
● アウトリガロックの白ラインが見えていること

**5** 車両を水平に設置してください。

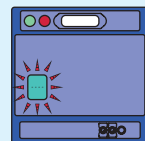


● 地盤の状態に合った敷板を敷いてください。  
● 前輪がわずかに浮くか、地面に接する程度にジャッキを設置します。

**6** フックを取り出してください。



**7** 作業前の点検を行ってください。

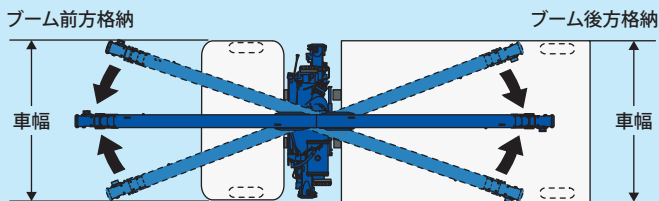


● 点検を怠ると安全装置や機械の異常を発見できず危険です。

## 走行姿勢へ

● 車検登録時の走行姿勢になっていることを確認してください。

ブームを車幅からはみ出さない。



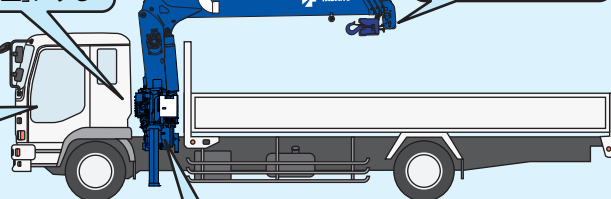
ブームを銘板で指示された方向に向ける

ブームを全縮小し、いっぱいまで下げる

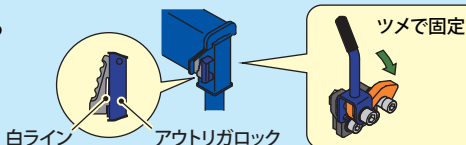
操作レバーを「中立」にする

フックを格納する

PTOを「OFF」にする



● ジャッキを完全に縮小する  
● アウトリガビームを完全に押し込む  
● 走行用ロックで固定する



● 電装部品は、高圧洗浄しないでください。



● 内部に水が入り、クレーンが異常な動きをする恐れがあります。

● 旋回装置に異常(ガタツキ等)があるときは、フックを車体に固定し、直ちにタダノ代理店・販売店で点検・修理を行ってください。

